



京都版

E-mail: kvo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel.075-811-3203 Fax 075-811-3213

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館

電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)-6277

振替 00100-4-83731

E-Mail(編集部) heishin@j-peace.org

<http://j-peace.org>

憲法を暮らしの中に生かす運動で岸田暴走政権を包囲しよう！

5. 3憲法集会 in 京都に 2000名が参加！！



壇上で手作りの横断幕をもってアピールする高橋さん

住民に地下要塞化を説明せよ！！

舞鶴平和委員会 高橋一郎

大軍拡、改憲の動きが急速に強まる中、今年の憲法集会では舞鶴平和委員会の高橋さんと学生の土田さんが発言しました。以下、発言の概要をご紹介します

発言の冒頭、高橋さんは戦後、憲法の下で生き

てきた実感とともに、今日の状況を想定していたかのような12条の規定―不断の努力による保持―の重要性について発言。まず京都北部に戦争準備のトライアングル―キルチエーンとしての経ヶ岬の米軍レーダー基地、福知山の自衛隊基地における射撃訓練、舞鶴のイージス艦―ができていることを強調。そして安保法制3文書に基地の強靱化が書き

続いて、若者憲法集会を企画した土田さんが発言。土田さんは憲法が施行後76年、平和主義、基本的人権を掲げ、時の政府の暴走を抑え市民の幸福を守り続けてきたこと、そして今後も国民のいのちと暮らし、自由と人権を守るための力となることへの願いを強調。その上でどうすれば軍事ではなく憲法九条を生かした対話による

(若者憲法集会立命館実行委員会)

土田 ゆず

私たちがこの社会で 憲法をこの社会で 実際に花咲かせたい

平和外交、憲法に根ざした政治ができるのかを考える中で、若者実行委員会を立ち上げ、憲法の基本的な考え方等の学習活動を紹介した。そのような活動の中で、現状を受け入れてしまいうあきらめの感情、常に改革や競争という潮流の中で過ごした現代の学生、若

込まれ、国会の質疑を通じて、核兵器に備える等、その恐ろしい実態を再認識し、憲法77年の平和民主主義の社会の営み、先の悲惨な戦争のことを顧みない今の政府に対する心からの怒りを表明した。さらに2月の市長選挙では舞鶴を出撃基地にする、「舞鶴は50年、100年先の国防の拠点としてあるべき」と暴言を發した前市長に代わり、維新の

前市長に代わり、維新の推薦を受け、当選した現市長は「憶測では言えない」としつつ、軍事産業の誘致が必要だとも述べており、引き続き追求する必要性を強調した。そして最後に憲法と共に生きてきた77年を次世代に引き継ぎ、9条を生かす政府をつくる必要性和その決意を述べ、報告を終えました。



若者の現状と展望を訴える土田さん

者が上意下達の社会の中で 自らの考えを言い出しにくくなっている状況が紹介されました。そしてJアラートのように連日、わが国に迫る危機が喧伝される中、日本中の自衛隊基地の強靱化や弾薬庫の建設が計画されている。これらの報道を見て、もう決まってしまうのなら仕方ない、と諦めてしまいたい。しかし、集まってきた多くの参加者と共に、これから担う私たちこそが主役であり、この憲法をこの社会で 実際に花咲かせたいとの思いを述べて、発言を締めくくりました。

京都府議会でも対話と外交による

平和の構築めざす決議を！

京都府議会議員 森 よしはる

義父が先日「自分史」を出しました。その中には1927年生まれで福知山に育ち、子どもながらに見た戦争に向かう日常、自らも航空隊に入隊し体験をしたこととともに、兄をレイテ島で亡くし、2000年3月に慰霊に行った際の「慰霊行雑話」も紹介されています。

政治的な解決にどれほど今の政権は力を尽くしているのだろうか。そう疑わざるを得ません。

私の活動する京都市南区には桂の自衛隊駐屯地があります。かつては田んぼや畑、キリンビール工場のなかにありましたが、今は巨大ショッピングモール、マンションなどと隣接しています。府議員選挙を迎える頃、全国で300の自衛隊基地を強靱化するという報道があり、桂駐屯地も入ることが明らかにになりました。強靱化の内容は、攻撃されることを想定し司令部が核攻撃にも耐えうるようシェルターをつくるもので、住民を守るためのものではありません。政権はそこまで想定していることすすめていますが、なかなかそうした情報が一般の新聞やテレビで報道されません。まずはその事実を知らせることが責任だと、私の演説でそのことに触れ、対話する



森よしはる府議

際にもそのことをお話ししました。自衛隊のすぐそばのマンションの前で宣伝しているのと近所にお住まいの方が、「えっ、本当ですか。怖いですね。知りませんでした。」と言われたこともありました。一方で、政治のことは難しくかわからないので選挙に行かないと言われた若いママもおられ、難しさを感じたこともありました。

選挙であればほど自民党政治と対決し「改革」すると言っていた維新の会が自民党らとともに、様々な悪法を強引に押し切り、改憲を遡上に乗せようとしています。

3月30日沖縄県

議会は「沖縄が再び戦場になることにつながるミサイル配備など軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和の構築に積極的な役割を果たすこと」を日本政府に求める決議を全会一致であげました。憲法違反の敵基地攻撃能力を備えるために復興財源を流用するなど「さすがにそれはないだろう」

と思われることを押し通そうとする岸田政権に対し、住民の生命と安全を守る立場から物言うのが地方自治です。私の議員活動も始まりますが、沖縄県のように物言う意見書が上げられるような府議会にするために力を尽くしていきます。

当面の活動日程

- 6月17日(土) 京都平和委員会定期総会
- 6月21日(水) 国民平和大行進京都入り
- 6月27日(火) 7月1日(土) 平和行進綾部亀岡コース
- 7月1日(土) 市内網の目行進
- 8月4日(金) 原水爆禁止世界大会 (5日(土))
- 8月6日(日) 広島大会・国際会議
- 8月7日(月) ヒロシマデー集会
- 8月8日(火) 世界大会―長崎
- 8月9日(水) 動く分科会
- 8月9日(水) ナガサキデー集会

【京都平和委員会・会員の声】

全国初の世界連邦都市宣言・綾部市が誕生！

綾部市会議員 塚崎 泰史

戦後間もなく綾部市で、旧綾部町の戸数を超えた大量の賛同署名(5103名)が集まりました。署名には「私は戦争の惨禍を地上からなくして世界の恒久平和を実現し、また全人類が道理にかなった平和な生活のできるようになるために、世界連邦建設を支持します」と記されていました。

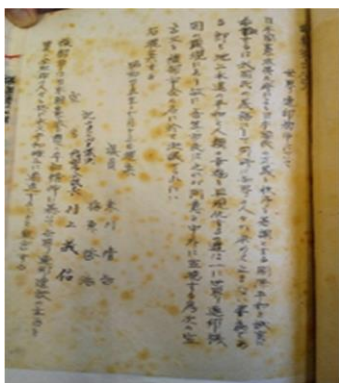


塚崎泰史さん

市民の平和への願いを原動力に、1950年10月13日の臨時議会に「議第29号世界連邦都市について」が提案され、全会一致で可決されました。そして翌14日、世界連邦都市宣言が綾部市によって発せられたのです。思想信条の違いを超えて幅広い市民の力で、全国初の世界連邦都市宣言・綾部市が誕生しました。

「綾部市は、日本国憲法を貫く平和精神に基づいて、世界連邦建設の主旨を賛し全地球の人々と共に永久平和確立に邁進することを宣言する」とあるように、宣言の核心は日本国憲法・第9条です。戦争か平和かの岐路にあるいまこそ、全国初の世界

連邦都市宣言都市・綾部市の真価を発揮するときだと思っています。私は、「平和の願いを託された市会議員として、市民のみなさんと力合わせてがんばります。」



「世界連邦都市について」の記述